

令和5年度 社会科

教科	社会科	科目	公民	単位数	4	年次／コース	中3年生/SS
使用教科書	帝国書院『社会科 中学生の歴史』『社会科 中学生の公民』						
副教材など	教育開発出版『新中学問題集 歴史Ⅰ』『新中学問題集 歴史Ⅱ』『新中学問題集 公民』						

1. 学習の到達目標

●科目について 歴史分野においては、昨年度より学習している古代・中世・近世・近代初期の時代背景を基に、日本を中心とした各国の動向を考察していきます。また、現代社会とのリンクを考え、身近な歴史についても学び、個々人の知的好奇心の涵養にもつなげていきます。 公民分野においては、現代社会・政治・経済・国際理解の4分野の学習を行います。それぞれの分野において、仕組みや「なぜ」そのようになるのかをテーマに、各単元の深い理解に努めたいと考えています。 ●コンピテンシーについて 社会科を通して、「主体的に学ぶ姿勢」を獲得してほしと考えています。本校の学校コンピテンシー「For me」における学びに向かう力を養い、自分で走り出せる（自走できる）ことを大きな目標として展開していきます。

2. 学習方法について

●授業中において 教科書を中心に授業を行います。歴史分野では日露戦争以後の歴史について、日本と諸外国との関係性などを中心に学習をしていきます。二度の大戦を経て、現代社会とのつながりについても学びます。公民分野では権利や人権、憲法・法などについて学んでいきます。 ●家庭学習において 上記で述べた分野だけではなく、中学1年生で履修した地理的分野の復習も2学期以降は行おうと思います。3分野において、総合的な学力を向上するために種々の課題等にも取り組んでもらいます。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	A：知識・技能	B：思考・判断・表現	C：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
評 価 方 法	・定期考査 ・提出課題 ・リフレクション	・定期考査 ・提出課題 ・リフレクション	・提出課題 ・パフォーマンス課題

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			A	B	C		
1	第4章 近代国家の歩みと国際社会 <第5節> アジアの強国の光と影 <第6節> アジアの強国の光と影 第5章 二度の世界大戦と日本 <第1節> 第一次世界大戦と民族独自の動き <第2節> 高まるデモクラシーの意識 <第3節> 戦争に向かう世論 <第4節> 第二次世界大戦の惨禍 第6章 <第1節> 敗戦から立ち直る日本 <第2節> 世界の多極化と日本の成長 <第3節> これからの日本と世界	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	<第1部第1章> 現代日本の社会と文化にはどのような特色があるのかを理解し表現できている <第1部第2章> 社会生活において、決まりにはどのような意義あるのかを理解し表現できている <第2部第1章> 政治が日本国憲法に基づいて行われていることにはどのような意義があるのかを理解し表現できている <第2部第2章> 民主政治を発展させるためには、どのようなことが必要なのかを理解し表現できている <第3部第1章> 私たちの社会を豊かにするためには、経済にはどのような働きが求められるのかを理解し表現できている <第3部第2章> 国民の生活と福祉の向上を図るために、政府はどのような役割を果たすべきかを理解し表現できている <第4部第1章> 世界平和と人類の福祉の増大を実現するために、国際社会はどのようなことができるのかを理解し表現できている	「3. 学習評価」に示した観点と評価方法によって評価		
2	<第1部 現代社会> 第1章 現代社会と文化 第2章 現代社会をとら	○現代社会の特色 ○私たちの生活と文化 ○社会的存在、効率と公正、決まり ○民主主義と日本国憲法 ○基本的人権の尊重 ○法の支配を支える仕組み	○ ○ ○ ○ ○ ○				

3	える枠組み 〈第2部 政治〉 第1章 日本国憲法 第2章 民主政治 〈第3部 経済〉 第1章 市場経済 第2章 財政 〈第4部 国際〉 第1章 国際社会 第2章 課題の探究	○民主政治と私たち ○国の政治のしくみ ○地方自治と私たち ○私たちの生活と経済 ○消費者と経済 ○企業と経済 ○これからの日本経済 ○生活と財政、国の支出と収入、社会保障 ○紛争のない世界へ ○貧困解消と環境保全 ○持続可能な社会を目指して	○	○	○	〈第4部第2章〉 「持続可能な社会」の実現に向けて、自分がどのように行動すべきなのか探究できている	
---	---	--	---	---	---	--	--